

3月1日(土) 鈴鹿国際大学で“国際理解セミナー「カンボジアと近隣諸国」”を開催しました！



講師の先生には、日本ユニセフ協会 三重友の会 事務局長であり、中国チワン族自治区友好大使であり、また高田短大の講師と白子公民館の館長をされております杉谷哲也氏をお迎えし、大変面白い講演をして頂きました。

参加者は約50名。50代・60代の参加者に混じって、ベトナム・タイ・モンゴルなどの鈴鹿国際大学の留学生や、三重大、高田短大の生徒さん達にも参加してもらい、発表もしてもらいました。

セミナーの内容としては、ハプニングから生じたカンボジアとの出会い、そこからどのように支援活動に繋がっていったのか、当時のカンボジアの様子、そして現在、と色々なエピソードをまじえてお話いただきました。

カンボジアは昔日本がとてもお世話になった国だったこと、当初まだ日本がカンボジアに見向きもしなかった頃、国や国際救援機関も出来なかったことを、四日市のある高校生達がチャリティー活動を通じてささやかながらでも支援をしたこと、民間の力の大切さ、人との出会いがネットワークとなって支援の輪が広がっていくこと、などなど貴重なお話を沢山聞くことができました。

また、カンボジアにとどまらず、メコン川を渡る子供たちの話、タイ・ミャンマーのお話など、話は広がりを見せ、聞いている私達ももっと続きが聞きたくなるような楽しいお話でした。

終盤では、杉谷先生と共に音楽活動を通して現地交流に出かけた、学生達の話や演奏、そして、当事学生のチャリティー活動に賛同し協力した東ソーという会社の、音楽部の方々による生演奏などもあり、とてもざっくばらんなよいセミナーとなりました。

リタイアされた方々、現役で頑張っている方、学生さん、それぞれの立場で形は違っても、やれることは沢山ありますね。何より、若い学生さん達の発表を聞いて、こちらまでやる気が湧いてきました！

今回参加された皆様、学生の皆さん、そして、杉谷先生、どうもありがとうございました。

そして、今回共催としてご協力いただきました鈴鹿国際大学 国際交流センターのクマーラ所長、渡邊さん、大変お世話になり、ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

では、次の講座をお楽しみに！